

## 平成18年度弁理士試験論文式筆記試験問題

### [ 建築構造 ]

1. 昨年来、耐震設計偽装建築物が社会問題となっている。中でも頻繁に報道されているのが、設計図書の確認申請プロセスの不備を突いた構造計算書の偽装である。建築基準法に定められた許容応力度等の構造計算に関する下記の問に答えなさい。

【30点】

- (1) 構造設計におけるいわゆる一次設計の構造計算について、下記の用語を用いて簡潔に説明しなさい。

荷重、外力、短期、長期、許容応力度、基準強度、F値

- (2) 高さが31mを超える建物の構造設計におけるいわゆる二次設計の構造計算について、下記の用語を用いて簡潔に説明しなさい。

地震力、層間変形角、1/200、保有水平耐力、必要保有水平耐力

2. 建築に用いられる下記のガラス製品のうちから2つを選び、それぞれについて製造上の特徴と製品の特徴について簡潔に説明せよ。

【20点】

フロートガラス、網入り板ガラス、強化ガラス、複層ガラス、合わせガラス、ガラスブロック、ガラス繊維

論点 [ 建築構造 ]

- 1 . 構造設計における法規にのっとった構造計算の代表的な手順について基本的な知識を問う。また、日ごろから、時事的な事項に対しても、建築構造の視点からどの程度関心を持ち、関連事項の理解を試みているかを問う。
- 2 . 近年建築物に多用されているガラス関連製品についての基礎的な知識を問う。